



2020年

7月

No. 172

夏 の 号

発 行

日立市助川町 5 - 14 - 8

TEL (23) 2620 FAX (33) 9150

ホームページ <http://www.taiyonoie.com>Eメール npo@taiyonoie.com

NPO法人 日立太陽の家

日立重症心身障害児(者)を守る会

日立太陽の家支える会



たくさんの思い出がつまった旧太陽の家にみんなで集まりました。ベランダから感謝の気持ちを込めて「ありがとう」と手を振りました。建物がなくなっても楽しい思い出はそれぞれの心の中に永遠に残る事でしょう。

「ここは書物にないものを学ぶところである」

NPO法人日立太陽の家 理事長 小 又 克 也

ここは書物にないものを学ぶところである
どんなに障害が重くとも

一人の人間として

その生命は尊重されなければならない

障害のある人たちをかこんで

幸せな社会の建設をめざす

日立市民の心の象徴として日立市太陽の家は生まれた

この家はすべての障害児(者)の幸せを守り

その行為を通して

市民ひとりひとりが

生命の尊さを考える場としたい

この理念は、日立市太陽の家が開園した昭和四十五年七月当初から今日まで実に五〇年もの長きにわたり、私たちが歩むべき道を示してくれました。社会の様々なことが変化していく中であって、何一つ変わらないこと、変わってはいけなことがここにあります。

生命の尊さを考える行為の先にあるものは、豊かな人生を考えること、障害と共にありのままに生きることとは何なのかを考える機会でもあったかと思えます。

太陽の家のあゆみの中で、豊かな人生の実現に更に近づくために、平成の中頃二つの合言葉を決めました。それは、『一日一回はみんなで笑おう』、そして『いつでもありがとうの気持ちを大切に』です。

日立市太陽の家開園五〇周年を迎えるこの機会に、私たちは今一度この理念の原点を見つめ、全ての人が笑顔と感謝で幸せに暮らせる社会の実現を目指すことを再確認したいと思います。

「ここは書物にないものを学ぶところである」

新任職員

感謝を忘れず頑張ります

日立市太陽の家

村上 美枝

私は今まで「私語は慎め・大声で笑ってはいけない」環境でお仕事をしてきました。

初めて太陽の家の現場を見させて頂き、体験させて頂いた日は正直戸惑いました。利用者の方だけでなく、職員の方も楽しそうに笑顔がたくさんだったことに、これがお仕事なの？と。

そして、こころは「生命を尊重し、幸せな社会を作る」お仕事なんだよ、と教えて頂きました。自分にそんな事が出来るのか不安もありましたが、素敵な環境で勉強してみたいと思いました。

太陽は想像以上にたくさんの方々と日々教えてくれます。どんな事にも一生懸命取り組み、音・光・景色一つ一つに感情を表してくれて、利用者の方が笑ってくれると、私までつられて笑ってしまいます。

家族の方の思いを聞いたときは、一緒に守りたいと思いました。私はここでの出会いに感謝しています。この感謝を忘れず、日々学んでいきたいと思っています。これからもよろしく願います。

はじめまして

グループホーム・太陽の家

井下 敦夫

今年度より新しく入職させていただきました。井下と申します。50

周年・グループホーム新設と節目の年にご縁があり、皆様の一員になれたことに感謝しています。所属としてグループホーム、太陽の家の業務の業務に就かせて頂いています。

今まで知的障害・高齢者と様々な福祉を経験して参りましたが法人の「笑顔と感謝を忘れずに」の言葉と「書物に書いていないことを学ぶ所」という理念にとても感銘を受けました。知識が無く入った福祉の世界も気がつけば20年以上携わり、今でも日々利用者様から大切なことを沢山学ばせて戴いています。まだまだ未熟で迷惑をおかけしますが出会えた皆様へ感謝し、その方の人生が少しでもプラスになるような関わりを持ち、一緒に楽しい時間を過ごしたいと思っています。「笑う門には福来たる！」いつも笑顔で周りがほっこり幸せになれるような存在になれるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

はじめまして

グループホーム・ひまわり学園

吉田 哲也

日立生まれ、日立育ちの吉田哲也(ヨシダ テツヤ)と申します。四月一日から「グループホーム」「ひまわり学園」で介護職員として従事させて頂いております。

小生は約三十年間、全くの異業種となる化学素材メーカーで半導体・電子部品材料の研究・開発業務に携わっておりました(三月末まで化学薬品ひしめく実験室に引きこもる生活を送っていました)。

ちなみに転職するに至った背景ですが、この十数年の間でパーキ

ンソン病を患い他界した父親と障害を持つ次男の誕生した関係で、福祉職の方々と緊密に接する機会があり「素晴らしい職業」と感銘を受けておりました。何時しか自分自身も「世の為、人の為に身を挺して働く」福祉職に興味を抱き、自問自答する日々を送っておりました。この度ご縁があり今年創立五十周年と歴史ある「日立太陽の家」にお世話になることに至った次第です。好奇心と探究心、情熱だけが取り柄の若輩ものですが、一日でも早く利用者さんにも信頼頂けるよう尽力する所存でございます。何卒宜しくお願い致します。

籠宮と申します！

グループホーム・ひまわり学園

籠宮 純

皆さんこんにちは。日立市十王町出身の籠宮純と申します。

この度、新設された「グループホーム」と「ひまわり学園」の支援員として4月よりお世話になっております。

私は今年の3月まで12年間、埼玉にある視覚障害者向け福祉機器メーカーにて、点字用品の営業を行ってまいりました。そこで視覚障害者のお客様たちと関わりを持たせてもらう中で「こういう人たちの為に力になりたい」という気持ちがあり、この施設の施設でお世話になることとなりました。

視覚障害者とは障害種も違い、日々勉強の毎日ですが、視覚障害者の方々に教えてもらった「視覚障害者」ということは、こちらの

利用者さんたちも同じだと思っています。こういった施設での勤務は初めてなので、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、一人ひとり違う個性の利用者さんたちと一緒に楽しく過ごしていきたいと思っています。

初めまして

母子療育ホーム

小野 結也

今年の四月一日から母子療育ホームにて勤めることとなりました。小野結也です。私はこちらに勤める前は、とある運送会社にて荷物の配送とラグビー選手としてラグビーをプレイしていました。昔から私は、人に携わる仕事とラグビーをプレイしたいという夢がありました。その結果、ご縁がありこちらの施設で御世話になることとなりました。

母子療育ホームでは、毎日が勉強です。まだ慣れないことも多く、頭の中がいっぱいになることも多々あります。しかしその中でも、利用児の方と関わりその笑顔を見ると、こちらも自然と笑顔や楽しい気持ちになります。そしてその方々のために何か一つでもできることはないか、という気持ちにも駆られます。

最後となりますが、私自身まだ勉強不足なことや至らぬ点も多くあります。ご迷惑をおかけすることもあります。その中でも、利用者の方と私自身も楽しんで日々を過ごしたいとも思います。昨今の流行にあやかるならば、早く皆さんと「ONE TEAM」となりたいです。

これから宜しく

お願い致します

ひまわり学園・グループホーム

内山 裕加里

今年度からひまわり学園・グループホームにて働かせていただいております。私は今年の三月まで茨城キリスト教大学で福祉について学んでおりました。福祉の道を志したきっかけは、高校生の頃に体験したボランティアの経験にあります。ボランティアの中で、高齢者の方々への配食サービスや特別支援学校の生徒さん、そのご家族の方々とのキャンドル作りなどがありました。活動を行っていく中で様々な生活上の相談や悩みを聞く機会があり、だんだんとそのような生活への問題を抱える方々にその場だけの支援ではなく、そのような方々の過去、現在、未来を考えた支援を行える仕事に就きたいと思い、それが福祉を学ぶきっかけとなりました。

今回ご縁があり、太陽の家で働かせていただけることになりましたが、これまでの福祉への信念を忘れず、大学時代の恩師が大切にしていた言葉である「その人らしさを大事にした支援」を心がけていきたいと思っています。まだまだ未熟者で至らぬ点も多々あると存じますが、何卒ご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



日立守る会だより

日立重症心身障害児（者）を守る会

新型コロナウイルスに負けるな

佐藤 芳昭

会員の皆様お元気ですか。予想だになかった新型コロナウイルスの全国的蔓延で、外出自粛など色々と規制され、大変な毎日を送っておられることでしょう。日立市は幸いにして感染者が少なかったのは、日立市の対応と相俟って、皆さん方一人ひとりの対応が適切だったからだと思います。太陽の家も休園することなく利用者を受け入れてくれ、親御さん達は本当に助かったのではないでしょう

か。全国的にどうやら収束の傾向になったとは言え、第二波、第三波が何時来るか油断は出来ません。何と言っても障害を持つ弱い子供に感染する事が最も恐ろしい事であり、親御さん達の心配は察するに余りあります。でも太陽の家の職員の方々が一生懸命に対応してくれており、その姿勢には感謝、感謝です。

許さなかったようです」とその事で、その時の賞金は五万円だったそうです。まだまだ続きがあるのですが、寄り道はこの辺にします。

何れにしても子供達はスポーツや音楽などには興味を持っていて、二十一年後に奥様が「作詞は夫です」と告白したそうです。奥様の話によると「夫は賞金目当てと思われるのはプライドが

火を見るより明らかです。どうか皆様方のお力を惜しまずに貸して下さい。小生も県重症児（者）を守る会の一翼を担っており、皆様方と一緒に、新型コロナウイルスをブツ飛ばすべく頑張っていきたいと思います。コロナウイルスになんかならないぞ。最後に繰り返しになりますが、コロナウイルスなどに絶対負けず、皆様方と何時お逢い出来るか分かりませんが、その時まで親子共々必ず健康で頑張っ

15年ぶりの

てんかん発作

根本 孝子

将伍が風の家お泊まりの朝、一人自宅で寛いでいると、風の家からの電話。「将伍君が今、発作を起こしています！」一瞬、何の事？と思つてしまいました。それ程久しぶりのてんかん発作でした。急いで風の家に向かいました。

時と同じ症状でした。てんかん発作を抑える薬を毎日服用しているのに、あまりにも長い間発作が無かったもので、てんかんが持病だという事を忘れてしまっていました。自己嫌悪、反省です。将伍の体調を日々もつと注意深く見守つていこうと思ひました。

コロナウイルス関連

今井 悟史

意識が無く、全身硬直が30分程続いているとの事で、救急車を手配してくれていました。そして日病へ搬送。太陽の家の看護師さんが付き添ってくれて、救急隊、医者、看護師への対応をしてくれました。

現在コロナウイルスが各国で流行しており、我国でもなかなか終息の兆しが見えてきません。その影響で音楽・スポーツ・鉄道関連・祭り関連等、様々な

(次頁へ)



お風呂上がりの温まった身体をほぐしています。リラックスして思わず笑顔に、気持ちの良い時間を過ごしました。
(日立太陽の家居宅介護事業所)



「あかい実なーんだ？」気持ちの良いお天気で会話も弾みそうです。6月から短時間療育が始まりました。楽しい思い出がつかれますように。
(母子療育ホーム)



漆塗りの作業が始まりました。木工班が6年間積み上げてきた技術が表現出来る作業です。是非ご覧下さい。
(しいの木学園)



鯉のぼり制作をしました。それぞれの個性が光る素敵な作品ができました。
(太陽の家)



(前頁より)
イベントが延期になったり中止が相次いでおります。それ以外には、映画館と観光施設封鎖・商業施設と飲食店の時間短縮があつて、どこまで続くのでしょうか？
出かけられなくて不満やストレスなどが溜まっていませんか？
皆さんは、どうしていますか？
自分も中々遠くに行けないので、最近「Zoom・インスタグラム・フェイスブック等のSNSをやり始めてつぶやいています。それ以外には、カメラの整理をやっています。たまにはこんな休日もいいかなと思います。

コロナウイルスで気を付ける予防とは、マスク着用・手洗い・アルコール消毒・栄養がある物をよく食べて、休める時に休むことです。それ以外には、やっぱり密閉・密着・密集を避けようですね。
皆さんも体調に気を付けて、この時期を乗り切って頑張りましょう。

お知らせ

◎二〇二〇年度

NPO法人日立太陽の家

利用者総数 三百五十八名

男性 二百七名

女性 百五十一名

ご寄付ありがとうございました

○次の方から寄付を頂きました(敬称略) 三月～五月

黒澤弘明 佐藤芳昭

有馬郷子 澤島供弘

石井陽子 鎌田節子

日立太陽の家支える会

○次の方から物品の寄贈がありました(敬称略) 三月～五月

椎名将光 田尻佑次

渡邊真希 心奏、日虹

神山佐知 暖武

神永光世 神田千拡

松本尚紀 餅田節子

村田理恵 日立助川郵便局

荻野慎一 鎌田節子

神保江利子

編集後記

設立五十年を迎えた太陽の家。これから五十年後の太陽の家。どんな時も同じ思い、同じ願いを繋いで。
(K記)